

安全データシート (SDS)

作成 2013年1月1日

1. 化学物質及び会社情報

製品名称

化学物質等の名称： 耐摩耗性特殊高力黄銅合金

- ①AT-1
- ②AT-1E
- ③AT-1EC
- ④CSM-6E
- ⑤CK-2
- ⑥P-31B
- ⑦P-31C
- ⑧P-31CL
- ⑨P-31CH
- ⑩P-31CHL
- ⑪P-31H

供給者情報

会社名： 中越合金鋳工株式会社
 住所： 富山県中新川郡立山町西芦原新 1-1
 電話番号： 076-463-1211
 FAX 番号： 076-463-1230
 緊急連絡先： 同上

推奨用途及び使用上の制限

主に自動車や油圧に使用される、機能部品等


2. 危険有害性の要約

GHS 分類 (コバルトが含まれる場合のコバルトについては、以下の分類がある)

物理化学的危険性	水反応可燃性化学品	区分外	—
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	区分外	—
	呼吸器感作性	区分 1	吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
	皮膚感作性	区分 1	アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
	発がん性	区分 2	発がんのおそれの疑い
	生殖毒性	区分 2	生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
	標的臓器・全身毒性 (単回暴露)	区分 3	(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ
	標的臓器・全身毒性 (反復暴露)	区分 1	長期又は半復暴露による臓器 (呼吸器) の障害
環境に対する有害性	水生環境有害性 (慢性)	区分 4	長期的影響により有害のおそれ

※ 記載のないものは、分類対象外または分類出来ない。

GHS ラベル要素

	原料及び加工で生じる粉塵等	素材及び製品
絵表示又はシンボル		該当無し
注意喚起語	危険、警告	該当無し
危険有害性情報	・吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起すおそれ	該当無し
	・アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ ・発がんの恐れ ・生殖機能又は胎児への悪影響のおそれの疑い ・呼吸器への刺激の疑い ・長期又は反復ばく露による呼吸器の障害 ・長期的影響により水生生物に有害のおそれ	該当無し
注意書き	<p>【安全対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての安全注意を読み、理解する迄取扱わない事 ・適切な保護手袋を着用すること ・適切な個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること ・換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること ・粉塵の吸入を避けること ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用する事 ・取り扱い後はよく手を洗うこと ・環境への放出を避けること <p>【応急措置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し呼吸しやすい姿勢で休息させること ・呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること ・気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること ・汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること ・皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと 	<p>【安全対策】</p> <p>全ての安全注意を読み、理解する迄取扱わない事</p>

	原料及び加工で生じる粉塵等	素材及び製品
注意書き	<ul style="list-style-type: none"> ・皮膚に付着し、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当を求めること ・ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること 	
	【廃棄】 <ul style="list-style-type: none"> ・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること 	

3. 組成及び成分情報

- ・単一製品・混合物の区別： 混合物（銅を主成分とした合金）
- ・主な成分及び含有量

成分	含有量(mass%)	CAS 番号	PRTR 法号番号	労働安全衛生法 施工令番号
銅 Cu	残量	7440-50-8	—	379
亜鉛 Zn	34 以下	7440-66-6	—	—
アルミニウム Al	5.6 以下	7429-90-5	—	—
ニッケル Ni	4.0 以下	7440-02-0	1 種 308	418
コバルト Co	2.0 以下	7440-48-4	1 種 132	172
ケイ素 Si	1.5 以下	7440-21-3	—	—
鉄 Fe	1.3 以下	7439-89-6	—	—
鉛 Pb	1.5 以下	7439-92-1	1 種 304	411
モリブデン Mo	0.5 以下	7439-98-7	1 種 453	603

【注記】合金の成分含有量は、上記含有量の範囲内ですが、詳細については製品規格または検査証明書をご確認下さい。

4. 応急措置

合金の加工等により発生した、粉塵/ヒュームを吸入した場合や飲み込んだ場合、また粉塵/ヒュームが皮膚に付着した場合や眼に入った場合は、下記に示す応急措置の後、必要に応じて医師の診断又は手当を受けること。

<吸入した場合>

呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

<皮膚に付着した場合>

粉塵/ヒュームで汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。

<眼に入った場合>

水で数分間注意深く洗うこと。

コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

<飲み込んだ場合>

口をすすぐこと。

5. 火災時の措置

合金は不燃性であり、一般環境下では引火および発火性の危険性はない。周辺の火災時においては、その燃焼物の消火に適応した措置を行うこと。

<消火剤>

消火剤に制約はない。一般的には、注水、炭酸ガス、粉末消火器などを使用すること。

<特有の消火方法>

消火作業は、可能な限り風上から行うこと。

<消火を行う者の保護>

適切な保護具を着用し、消火作業を行うこと。

6. 漏出時の措置

合金は固体であり、一般環境下では漏出することはないが、合金の加工等により発生した粉塵/ヒュームは下記に示す措置を実施すること。

<人体に対する注意事項>

適切な保護具を着用して、粉塵/ヒュームの吸入や眼や口に入ることを防止すること。

<保護具及び緊急時措置>

箇条 8. (ばく露防止及び保護措置)の保護具を参照のこと。

<環境に対する注意事項>

合金の加工等により発生した粉塵類は回収すること。

<封じ込め浄化の方法及び機材>

合金の加工等により発生した粉塵類は適切な方法で回収したのち、漏出を防止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

◇取扱い：

<技術的対策>

合金を溶接・溶断又は研磨等の加工を行い粉塵/ヒューム等が発生する場合は、適切な保護具を着用すること。

また、粉塵/ヒューム等が発生する箇所は、局所排気/全体換気を行うこと。

<安全取扱注意事項>

重量物であるため、転倒、荷崩れ、落下等に注意すること。

合金の加工等により発生した粉塵/ヒュームは吸入又は飲み込まないよう注意すること。

<接触回避>

合金と接触させてはならない化学物質は特になし。

◇保管：

<安全な保管条件>

不必要な水漏れ、酸、アルカリとの接触や、急激な温度変化や湿度の高い場所を避けて保管すること。

<安全な容器包装材料>

必要であれば、雨水浸透防止、錆防止のためのシート・カバー・梱包などの措置を行うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

合金は通常の状態では固体であるため、一般的な環境下では、ばく露防止および保護措置に関する有用な情報はない。

但し、溶接・溶断又は研磨・切削等の加工の際は、ヒュームや粉塵類が発生するので下記に示す設備対策および保護措置を実施すること。

◇許容濃度： ※NITE HP:化学物質総合情報提供システム(CHRIP)検索結果

成分	CAS 番号	PRTR 法号番号	日本産業衛生学会 許容濃度 mg/m ³
銅 Cu	7440-50-8	—	—
亜鉛 Zn	7440-66-6	—	—
アルミニウム Al	7429-90-5	—	—
ニッケル Ni	7440-02-0	1 種 308	1.0
コバルト Co	7440-48-4	1 種 132	0.05
鉄 Fe	7439-89-6	—	—
ケイ素 Si	7440-21-3	—	—
鉛 Pb	7439-92-1	1 種 304	0.1
モリブデン Mo	7439-98-7	1 種 453	—

◇設備対策：

適切な換気対策を実施し、作業環境を確保すること。

◇保護具：

<呼吸用保護具>

防塵マスクなど適切な呼吸器保護具を着用すること。

<手の保護具>

適切な保護手袋を着用すること。

<眼の保護具>

適切な保護眼鏡を着用すること。ヒュームや粉塵類が、飛散または霧拡散によって顔に接触する可能性がある場合は、顔面用シールド等を着用すること。

<皮膚及び身体の保護具>

保護衣、安全靴などの適切な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

◇外観：棒状、管状などの固体。黄色。

◇臭い：無臭

◇融点：900～950℃

◇密度：8.0 g/cm³

10. 安定性及び反応性

〈化学的安定性〉

一般環境下では安定している。

〈危険有害反応可能性〉

特定条件下で生じる危険有害反応の可能性はない。

〈避けるべき条件〉

避けるべき条件は特にない。

〈混触危険物質〉

合金と接触させた場合に、危険有害性を生じさせる物質は特にない。

〈危険有害な分解生成物〉

溶接、溶断などの加工時に発生するヒューム中に金属化合物が含まれる可能性がある。

11. 有害性情報

	Cu	Al	Fe	Zn	Ni	Si	Pb	Mo	Co
急性毒性	—	—	—	—	—	—	—	—	—
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	—	—	—	—	—	—	—	—	—
眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性	—	—	—	区分2B	—	区分2B	—	—	—
呼吸器感受性又は皮膚感受性	—	—	—	—	区分1	—	—	—	区分1
生殖細胞変異原性	—	—	—	—	—	—	区分2	—	—
発がん性	—	—	—	—	区分2	—	区分2	—	区分2
生殖毒性	—	—	—	—	区分1	—	区分1A	—	区分2
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	区分3	—	—	—	区分1	—	—	区分3	区分3
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分1	区分1	—	—	区分1	—	区分1	—	区分1
吸引性呼吸器有害性	—	—	—	—	—	—	—	—	—

注記1： NITEホームページGHS分類結果表示より

注記2： 表中の“—”は、区分外又は分類できないことを意味する。

12. 環境影響情報

	Cu	Al	Fe	Zn	Ni	Si	Pb	Mo	Co
生態毒性	—	—	—	—	—	—	—	—	—
残留性・分解性	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生態蓄積性	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土壤中の移動性	—	—	—	—	—	—	—	—	—
オゾン層への有害性	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水生環境有害性	—	区分4	—	区分1	—	—	—	—	区分4

注記1： NITEホームページGHS分類結果表示より

注記2： 表中の“—”は、区分外又は分類できないことを意味する。

13. 廃棄上の注意

〈残余廃棄物〉

産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で残余廃棄物を処分する事。

〈汚染容器及び包装〉

容器及び包装に汚染物質が付着している場合、残余廃棄物と同様に、産業廃棄物に関する法律、都道府県又は市町村が定める関連条例の規則に従い、環境に配慮した適切な方法で処分する事。

14. 輸送上の注意

輸送に関する国際規制対象物質に該当しない。

15. 適用法令

- 労働安全衛生法
- PRTR(化学物質排出把握管理促進)法
- 消防法

16. その他の情報

本安全データシートは、JIS Z7253:2012「GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」に基づいて作成したものです。

記載内容は現時点で入手できた情報をもとに作成しておりますが、記載データや評価について安全性を保証するものではなく、安全な取扱いを確保するための参考情報として提供しています。

従って、危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。

注意事項は、当製品についての通常取扱いを対象にしたものであって、御使用者の責任において関係法令に従うと共に安全対策を実施のうえ、適切なお取扱いをお願いします。

以上